

菅生中だより

平成27年11月24日
菅生中学校学力向上推進委員会
学力特集号

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語・数学・理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

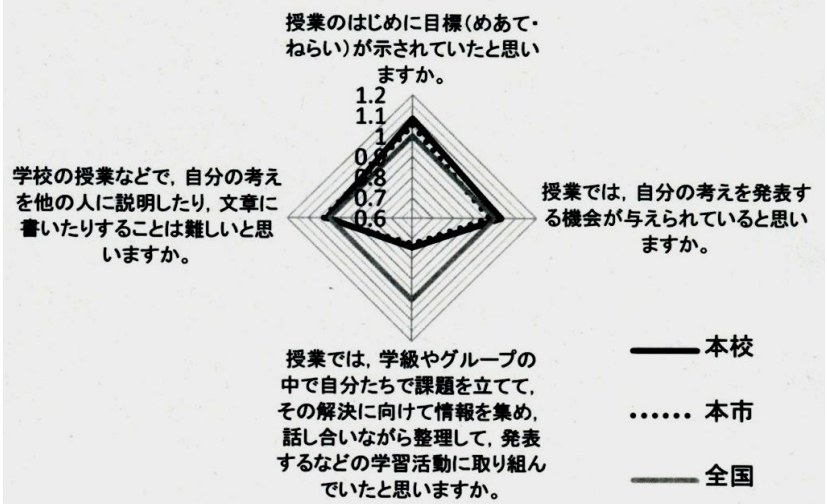
① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	上回っている	・全体的には、全国平均正答率を上回った。全体の無解答率は県平均、市平均よりも低く、生徒の意欲があらわれている。領域別では、読むことと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項は、全国平均正答率を上回ったが、書くことは全国平均正答率を下回った。
国語B	下回っている	・全体的には、全国平均正答率を下回ったが、話すこと・聞くことは全国平均正答率を上回った。全体の無解答率は県平均、市平均よりも低く、生徒の意欲があらわれている。書くこと、読むことは、全国平均正答率を下回り、問題の文章を理解して、自分の考えを書くことに課題がある。
数学A	下回っている	・全体的には、全国平均正答率を下回ったが、特に図形、関数、方程式の分野で大きな課題がある。全体の無解答率は県平均、市平均よりも低く、生徒の意欲があらわれている。資料の活用は全国平均正答率を上回ったが、分野にかかわらず、数量や図形に関する知識理解を深めていく必要がある。
数学B	下回っている	・全体的には、全国平均正答率を下回っており、特に図形の分野で大きな課題がある。全体の無解答率は県平均、市平均よりも低く、生徒の意欲があらわれている。全国平均正答率を上回る問題もあったが、分野にかかわらず、数量や図形に関する知識理解を深めていく必要がある。
理科	下回っている	・全体的には、全国平均正答率を下回ったが、全体の無解答率は県平均、市平均よりも低く、生徒の意欲があらわれている。領域別では、科学的領域と地学的領域、評価の観点別では観察・実験の技能、自然事象についての知識・理解が全国平均正答率を上回った。主として「活用」に関する問題に課題がある。

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

・授業の初めに目標が示されていたと回答した生徒、授業の中で自分の考えを発表する機会が与えられていると回答した生徒は、全国平均を上回った。授業の中で目標を明確にし、生徒の意見を引き出して授業を進める授業改善の成果があらわれている。
・授業の中での話す活動の不足は、これまでも本校の課題であったが、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しいと考えている生徒が、全国平均をやや上回っていることなどから、授業における話し合い活動を今後も工夫していき、基礎学力を定着させる必要があると考える。
・本校は、基礎的・基本的な学習の定着に継続的に取り組んでいるが、これらの取組をこれからも粘り強く継続する必要がある。また、生徒の能力に応じて、授業における話し合い活動を取り入れていく。

本校と本市の対全国比(全国を1とする)

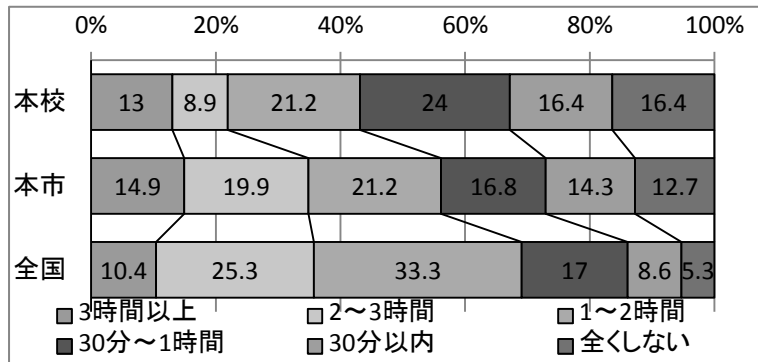


2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)

・学校図書館や地域の図書館等の利用に関して、月一回以上の頻回利用する生徒は全国平均を大きく上回っており、朝読書の取り組みなどが成果を上げ、生徒の読書への関心が高まっていると考えられる。
 ・平日の家庭学習時間、休日の家庭学習時間は、全国平均を下回った。家庭での学習時間の不足はこれまでも本校の課題であったが、家庭との連携を強化し、これまでの家庭学習に関する取組を継続するとともに、工夫改善していく必要がある。



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

・家の人の学校行事への参加が、全国平均を上回り、学校行事への関心の高さがうかがえる。
 ・自分の考えや意見を発表することは得意だと感じている生徒の割合が、全国平均を大きく上回ったが、友達の話や意見を最後まで聞くことができると思う生徒の割合は、逆に全国平均を下回った。
 ・自分にはよいところがあると思いますかという質問に対する回答が、全国平均を下回り、自尊心の低さも課題である。
 ・学校での学習状況に関する調査結果にも関連するが、基礎的な言語能力を高めるとともに、授業において話し合い活動を徐々に取り入れることで、コミュニケーション能力を高め、互いを認め合う関係づくりを構築することにより、自尊感情を高めていく必要がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

◎ 基礎的・基本的な学習の定着

- 朝自習の取組
 - ・ 5教科豆テストと読書活動
 - ・ 朝自習確認テスト(合格するまで放課後再テスト、3学年) 等
- 考査前を中心に各教科の基本事項を徹底できる演習問題「これだけはテスト」(目標点に達するまで繰り返し確認、1学年)
- 授業ノート、ワーク、プリント、ファイル等徹底した点検(各教科担任、各学級担任等、全職員で点検) 等

◎ 学習規律の徹底(菅生中「学習の5則」を各学級に掲示し指導)

◎ 小中連携の取組

- 成績不振な生徒への支援(小学校との連絡を密にし、課題の把握、対応策の検討を行う)
- 小中一貫・連携教育推進サポーターとの協働・連携(活動補助・教材開発、傾向分析) 等

◎ 言葉の力を高める取組

- 読書の取組(朝読書週間・学級文庫設置・図書館開放(毎日昼休み、放課後)・図書館整備)
- 行事ごとに行う作文指導 等

◎ 授業での取組

- 自分の考えを交流するなどの対話活動
- 習熟度別指導(学力別に2グループをつくり、教え合う活動) 等

◎ 過去問題の分析・練習

- 授業での個々問題、活用ワークの利用 等

◎ 「書く」ことの継続

- 短文・新聞コラム等の書き取り 等

◎ 生徒による取り組み

- 学習委員会の授業態度点検・定期考査に向けた予想問題づくり
- 生活委員会による遅刻チャイム席点検

菅生中「学習の5則」

- ① 教室内を整頓する
- ② チャイム着席を守る
- ③ 始めと終わりの挨拶をきちんとする
- ④ 姿勢を正す
- ⑤ 授業は目で聞く

② 家庭生活習慣等に関する取組

◎ 家庭学習の取組

- 家庭学習における時間活用の指導
- 学習計画表・実施報告書の点検
- 各学年で調整して行う宿題(主に各教科の予習・復習等)
- 自学ノートの点検(定期考査時期等)に実施 家庭学習マイスターへの積極的な応募) 等
- 学習や生活に関する取組の家庭への周知・啓発

